

会 議 の 名 称	第2回あま市放課後子ども教室のあり方研究会
開 催 日 時	令和元年9月20日（金）午前9時30分から10時45分まで
開 催 場 所	あま市役所甚目寺庁舎 2階 第1会議室
内 容	1 あいさつ 2 協議事項 （1）放課後子ども教室の実施内容について 3 その他
資 料	次第 七宝地区放課後子ども教室実施プログラム（資料1） 参加児童、スタッフ募集案内（資料2） スタッフ研修（資料3） 令和元年度放課後子ども教室（七宝地区）利用の手引き（資料4） 放課後子ども教室（七宝地区）スタッフ活動マニュアル（資料5） 児童登録者数、スタッフ名簿（参考）
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人 の 人 数	0人
出 席 委 員	井村委員、溝口委員、林委員、辻委員、川原委員、村上委員、大西委員、立松委員、鎌倉委員
欠 席 委 員	木全（克）委員、木全（孝）委員、増田委員、宮崎委員
事 務 局	木下福祉部長、樋口子育て支援課長、林主幹、井上係長

井村委員長	開会 あいさつ
福祉部長	あいさつ
事務局	資料確認
井村委員長	協議事項 (1) 放課後子ども教室の実施内容について
事務局	資料1から5及び参考に基づき七宝地区放課後子ども教室の児童、スタッフ、プログラム内容の詳細及びご欠席の宮崎委員より児童の登録者数が伊福小学校7名、秋竹小学校8名という少ない人数のため、児童クラブの子も申込みできるようにすれば登録者数が増えるのではないかとご意見をいただいていることを説明。
林委員	最初に放課後子ども教室のお話を聞いた時、地域から要望があるような話を聞いていたが、蓋を開けてみると申し込みが少ない。最初ですから、これからまだ増えていく方向ではあると思いますが第一印象何か少ないなっていうのは正直ありました。最初、地域からの要望もあって保護者の方も興味があるような、そういうニュアンスの話もされたと思ったのですが、児童クラブに入っている人は対象外になるので人数が少ない。しかし児童クラブと子ども教室の趣旨や目的が元々違うので、それを今一緒にするという事もやっぱりおかしいと思います。募集の方法の考え方も本当に参加したい人に対して第2弾をもう少し詳しく書く。一度に全部書いてしまうと、どうしても抵抗があるような感じもします。次回募集する時は、そこを考えていただけるといいかなと思います。
溝口委員	定員が各小学校40名で追加募集は先着順になっておりますが、保護者から申込みがあれば受け入れできるわけですかね。
事務局	これから始めていくと様々なプログラムをして子どもた

	<p>ちが多分楽しんで帰られる。そうすると、友達等に声掛けをして人数が増える場合もございます。申込みの期限は終わっていますが、1回目から参加しないと駄目というわけではありませんので、5回目からでも6回目からでも参加していただける形を取っております。</p>
川原委員	<p>帰りは徒歩か自転車による保護者等のお迎えとなっておりますが、実際美和や甚目寺はどうですか。</p>
事務局	<p>学校の駐車場の問題等もありますので、緊急以外は子ども教室については徒歩か自転車ではぼ来ていただいています。台風等の場合は、別ですが。</p>
川原委員	<p>保護者の方で徒歩か自転車のお迎えはすごく大変と試してみえる方もいらっしゃると思います。でも、しょうがないですね。駐車場がないから。</p>
辻委員	<p>林委員のお話にも私も賛成です。児童クラブの子たちが放課後子ども教室に参加できるようにするというのは、少し本来の目的とずれてくるかなと思っています。確かに人数は少ないですが人数を集める事を目的として多分やっていないと思います。なので、どこかのタイミングで保護者の方にアンケートを是非取っていただいて、どういう形の放課後子ども教室が求められているのかということをしちゃんと把握をしないといけないと思っています。中には毎日預けたいという親御さんや本来の目的と違ったニーズがあるかもしれないですが、そういったものは置いておいても、例えば時間がもう少し違っていたら参加させたい、迎えの車がどうしても駄目だから等、そういう意見を把握できると、少しは人数が増えるのではないかなと思います。あとチラシのことは私も少し難しすぎるかなと思っています、難しいチラシも大事ですが実際に公開日みたいなものを設けて見てもらうとか、どんなふう子ども達が過ごしているかを見られる日があると、それを見て行かせたいなと思ってくれる親御さんもいるのかなと思うので、何のために放課後子ども教室をやっているかっていうことを見てもらい参加してもらい流れを作れるともう少し人数が増えてくるのではないかと感じます。</p>

立松委員	現状美和とかはもっと人数が多いですね。
事務局	20から30人の児童が参加しています。
立松委員	<p>ということは、大体定着もしていて放課後子ども教室を希望する保護者の方は結構いらっしゃる。そういう方にもアンケートを取ってみて、なぜ参加をされているのかというところを少しリサーチしていただいて、子どもが行きたいって言ったから等多分色々あると思います。そんな中でやっぱり今やっている所の地域性も勿論あるとは思いますが、全体の保護者のニーズの把握も必要だと思います。確かにあま市版モデルの方向も必要ではあると思いますが、まだまだ地域性があるのかなとすごく美和に住んでいて実感はしているので、必ずしも同じ形であてはまらないといけないかどうかはもう少しリサーチが必要なのかなと感じています。</p> <p>先ほどの自転車、徒歩でのお迎えは、このあま市のインフラ状況から言ったら難しい。またおじいちゃん、おばあちゃんのお迎えの方もみえます。私が美和でやっていた時、お母さんたちは車で迎えに来ていました。それがいいかどうかは別としてこの事も確かに応募が少ない原因なのかなと思います。美和で参加されている人たちは多分それに慣れてしまっていて当たり前になっているかもしれないですが、これから始まるとなるとそこも少しハードルになっているのかなとは感じました。良い事をやっけて子どものためと思う反面、日々の生活の部分で不便というところがやっぱりネックになるのかなとは感じます。</p>
林委員	せつかく良い事やるのにね。そういう違うところでネックになってしまうと台無しになってしまう。そこの辺りが問題ですね。
立松委員	駐車場がないので、難しいかなと思います。
大西委員	教えて下さい。児童クラブは子どもを預かって何をやっているのですか。職員がいて子ども教室と同じような事をやっているのですか。

事務局	<p>児童クラブと子ども教室は違います。児童クラブは宿題、おやつや遊びの時間があります。</p>
大西委員	<p>七宝公民館にいと児童クラブの保護者が迎えに行くのが見えて、大体6時頃。子ども教室は5時終わり。それと子ども教室は月2回ぐらい、児童クラブは毎日のことですね。登録者が秋竹小学校は8人だと聞きあまりにも少ないのもう少し何とかならないかという気持ちでこの前宮崎委員とお話していた。ただ5時で終わると6時頃迎えに来るとでは時間的に月2回ですけれどネックがあると思うんですね。児童クラブの保護者に一度どんな状況か聞いてみる必要があるなとこの辺も考える必要があるんじゃないかなと思うんです。それと下校の時にスタッフが待っていて、そこへ子どもさんが間違いなく子ども教室へ行くのを先生方に周知してあるわけですかね。</p>
事務局	<p>はい、現場でも再度来週周知いたしますし、きちんとお子様を引き渡すかたちになります。駐車場の話が出ましたが、児童クラブは保護者の方がお迎えに来る時間はそれぞれの就労時間が違うため異なります。しかし子ども教室は5時で終わります。例えば、定員の半分20名が車でのお迎えだとします。20台止める場所が小学校にあるかということ非常に難しい。異なる時間に保護者が迎えに来るという事であれば3、4台の駐車スペースで済むのですがどうしても終わる時間が一緒ですと車の乗り入れは非常に難しいという事になり今はこのような対応をしているという状況であります。</p>
大西委員	<p>実際のところ七宝公民館の駐車場は満員です。皆さん今本当にお仕事やってみえる人、正社員でやってみえる人が多い。その辺のところも考える必要があるのではと思っております。</p>
井村委員長	<p>その中でどれだけのお母さんが放課後子ども教室を選んでくれるか。児童クラブに入れるなら、そちらに入りたいたろうなと思いますけど、条件が色々あります。だから同じ事では意味がないし、本当に選択をお母さん達ができると思</p>

	<p>います。子どもが行きたいって言ったら、お母さんは何とか必至になって5時に迎えに行こうか、楽しんでくるなら等考えます。何か児童クラブとは違う、こっちの何か良いところ、魅力なところをこの各小学校の7人、8人の子ども達がまず先行して、とにかくあそこは楽しい、遊べる、何か物を作れるとか表に出てくれたらいいかなと思います。どうしても比べる事は難しいですね。児童クラブの方が時間も長いし内容も違ってきます。放課後子ども教室をやるのは、最初の目のつけたところが違うので子どもたちが本当に両手をあげて楽しいと思ってくれたらいいなという感じはします。</p>
<p>林委員</p>	<p>せっかくこうやって10月からずっと計画して、既にプログラムもあるし、地域の人と触れ合えるし、色んな特技を持っている人と交流できることは大変良い事だと思うので、最初はなかなか色々と問題があって、条件があって出られない人もいるかもしれない。やっぱりスタートして一歩前進して前に進みませんとね。定例会議もあるし、親が見学したり子どもが家へ帰って友達と楽しかったよと一言言ってもらっただけで口コミも広がってくると思うので、極力是非進んでほしいと思いますね。</p>
<p>川原委員</p>	<p>すばらしいプログラムになっているし、きちんとした人員体制も整っているんで、是非参加者をとと思います。先程井村委員長がおっしゃった子どもが来たいって言えばちょっと無理しても頑張ってくるっていうのはほんとそうだと思います。チラシでボランティア募集の方は効果があったと伺ったので、参加者募集の方も立松委員が市民活動センターの方でチラシの講習会をやってらっしゃるようですし、もう少しそういうところの力も借りていただくといいかなと思います。私たちママ・ぷらすも子どもの防犯啓発リーフレットをあま市で配らせていただいたことがあります。その時に一番大切にしたいのが、子どもが持ち帰って親に見せるかどうかをすごく大切にしたいですね。これはやっぱり大人向けのチラシだと思うんです。どうしても入れなければいけない情報があるんですが、興味さえ持てばもっと細かいのでも小学生のお母さんは若いですからすごく細かい字でも読むんですね。そこはまず、子どもが興味を持ってこれ何だろう。何か楽し</p>

立松委員	<p>そうだな。ちょっとお母さんに見せてみようと思うような工夫をされると子ども自身が帰ってお母さんに見せようというような引き出しづくりを探してみる価値はあるんじゃないかなと思いました。</p> <p>実は私共のほっとネット・みわの方も毎年小麦っこクラブという事業をやっているんですね。それがやっぱりイラストをバーンと大きく入れて楽しいおやつ作りみたいなのを出すと子どもがやっぱり来たいと言うので、すごく応募があるんですね。毎回抽選で一回20名ぐらいまでしか入れないんですけど、100名以上の応募があります。</p>
大西委員	<p>何をやるの。</p>
立松委員	<p>おやつ作りです。今年は餃子を作って、餃子の瑞逢社さんから先生に来てもらい親子で手作りするというテーマでやっているんですが、単なる食育で硬いチラシだったら多分そんなに来ないんだけど、やっぱり子どもが見て行きたいって思ってくれて渋々親が申し込む、休みに出ていきたくないけど親子って書いてあるから。最近はお父さんが一緒に来て餃子を作っていました。そんなことが今ふと川原委員のご発言で気がつきました。確かに防犯啓発リーフレットの鬼と積み木の絵が描いてあって、やっぱり子どもがパッと目を引いてこれって何だろうっていうのはすごく大事なかなと思います。詳細についてはお問い合わせ下さいって、極端の方が良いのかなと思います。今後は説明会とか多分やられないと思うので。</p>
井村委員長	<p>きっかけね、最初の。</p>
立松委員	<p>子どもが行きたいっていうのは弱いですよ。</p>
井村委員長	<p>そうですね。</p>
大西委員	<p>子どもさんも少ないですけど、スタッフは本当にね、やっていただけの人が少ないのね。この辺を考えないとこれからまた七宝小学校、宝小学校と増えるので、今の状況で判断し</p>

	<p>てはあまり良くないなと思ってます。私も数名お願いして来ていただいています。そんな状況ですから、やはりスタッフの確保も大変なんですね。子どもさん達の人数を増やさないとということも勿論あるんですが。</p>
立松委員	<p>10月から始められているので、もしかしたらもうお稽古事とかが例えば月曜日に埋まってしまっているかも。例えば4月のタイミングだと、これがあるからもう月曜日のお稽古はやめてこれに参加するって決められると多分増える可能性はありますよね。</p>
大西委員	<p>さっき言ったように、お料理するような人がおれば。</p>
立松委員	<p>スタッフで料理する人いますよ。</p>
大西委員	<p>そういう人を分けて各学校へ行っていただく。</p>
立松委員	<p>調理はだめですよ。</p>
大西委員	<p>やっていただくといいなと思って。</p>
立松委員	<p>そうですね。以前は美和でおやつ作りもやりました。</p>
大西委員	<p>子ども達がクッキングなら、もっと増えてくるんじゃないか。</p>
立松委員	<p>そうですね。</p>
溝口委員	<p>新しい事業を立ち上げると色んな課題、問題点が出てくると思います。その出た問題の課題についてすぐにスタッフ会合を開いて対応していくのかをお聞かせいただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>問題点が出れば各小学校のスタッフと事務局でスタッフ会議も開きます。そういった事が例えば秋竹で起きた時に伊福で起きてもいけないため、会議にて共有を行います。課題が出ればすぐに打ち合わせをして、どのように解消していこ</p>

井村委員長	<p>うかという話をさせていただいた中で、この研究会でもこういった課題が出ましたということはお話させていただきましたらご意見をいただけたらなと思っております。</p> <p>他には何か。いいですか。 スタートしてください。</p>
川原委員	<p>楽しみだなと思います。すごくいい形で。</p>
井村委員長	<p>そうですね。スタッフの方たちも充実していますしね。まず、やっていただいて。子どもさん達の反応をね、まず聞きたい。どうだったかなっていう反応を聞かせていただきたいなと思います。</p> <p>はい、ではこれで質疑がないようですので、この議事を終了いたします。その他に入りたいと思いますが事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>はい、先回のこの研究会でお話させていただきました。また先程井村委員長より子どもの声をという話でしたが、一度子ども教室を見に行っていたらなと思っております。実際ですね、最初の1、2回目についてはスタッフも不慣れな点もあるかもしれませんので、そういった不慣れな部分は私たちでご報告させていただきますので実際本当にプログラムをしていってスタッフがどのように子ども達に対応して子ども達がどれだけの笑顔でしているかというのを見ていただきたいなと思っております。また日程調整をさせていただきますので、その節は宜しく願いいたします。</p>
井村委員長	<p>はい、分かりました。</p> <p>それでは、以上で本日の『あま市放課後子ども教室のあり方研究会』を閉会いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>